



みみ

耳よい

# メール

国立病院機構 相模原病院 広報誌  
令和4年9月6日号  
発行：国立病院機構 相模原病院  
発行責任者：安達 献  
住所：相模原市南区桜台18-1  
電話：042-742-8311（代表）  
F A X：042-742-5314

第86号



▲ 北海道美瑛町「青い池」

## 第86号 目次

◆ 新院長より挨拶…………… 2

◆ 第1回医療連携講演会を開催しました… 4

**連載** 近隣協力医療施設の紹介コーナー

座間市 相模が丘「鶴田医院」様…………… 5



SAGAMIHARA  
NATIONAL  
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの  
人権を尊重し、  
十分な説明と同意に基づ  
き親切で心こもった医  
療を提供します。

## 新院長より挨拶

令和4年4月1日より、安達献院長(前副院長)が就任されましたので、  
当院紹介を兼ねた挨拶を掲載いたします。



安達 献(あだち けん) 院長

国立病院機構相模原病院を代表いたしまして、  
皆様にご挨拶申し上げます。

当院は旧陸軍・国立病院をルーツに持つ急性  
期総合病院です。この地域で最も歴史のある公  
的病院で、コロナ禍の厳しい現状においても適  
切な感染管理体制を保ち、標榜する29診療科  
すべてで標準的医療が行える体制を維持してい  
ます。

### 1.地域医療支援病院としての使命

～急性期・難病・がん・共同利用・  
救急医療～

当院は相模原市の中・南部地域の中心的な地  
域医療支援病院として断らない救急医療を実践  
しています。地域支援病院とは近隣の開業医の  
先生や病院の先生と密接な連携をとり、地域の

住民の皆さんの医療の責任を担う施設です。す  
なわち急性期医療と神経難病等の難治性疾患や  
『がん診療(2016年に神奈川県がん診療連携指  
定病院に承認)』の診断治療は当院が担当し、退  
院後は当院から近隣の先生方に逆紹介します。  
日常の診療・予防管理は患者さんの自宅あるい  
は職場の近くの診療所の先生に、急性期治療を  
終え病状が比較的安定するも尚在宅復帰が困難  
な患者さんは近隣の病院に、その後の治療を担  
っていただくということです。2011年9月に  
地域医療支援病院として承認されてから10年  
が経過しました。患者さんのご理解と600名を  
超える医科・歯科連携登録医の方々のご協力に  
より、紹介率80%超、逆紹介率99%、CT・  
MRI・核医学検査等の高額医療機器の共同利用  
件数が月平均350件以上とおかげさまで概ね軌  
道に乗ってきています。今後も病病連携と薬薬  
連携は更に構築・強化していきたいと考えてお  
ります。救急医療については、いち早く自院で  
の新型コロナPCR検査の体制を確立しました市  
の二次救急担当日はのべ300日に及び、月平均  
500件を超える救急搬送を受けています。二次  
救急受け入れ率と平日日勤帯の救急車受け入れ  
率は98%に達しており、この断らない救急医  
療を継続するための更なる体制作りにも努めてい  
きたいと思っております。

## 2. 低侵襲医療、自由診療

～患者さんの負担を軽くするために～

当院では低侵襲医療や自由診療を積極的に行っています。外科では食道から大腸まで、腹腔鏡下、胸腔鏡下手術など低侵襲な手術が実施されており、特に大腸手術においては全件数の90%以上が腹腔鏡下で手術されています。泌尿器科では膀胱がん、前立腺肥大に対する内視鏡手術が増加傾向で上部尿路腫瘍や前立腺がんの手術の場合は腹腔鏡下手術が選択され、婦人科でも腹腔鏡下手術が中心となっています。整形外科では2020年より脊椎の手術に内視鏡手術が導入され手術件数が増加しています。手、上肢の整形外科専門医が在籍しているのも特徴です。放射線科は2014年IVR（透視下画像治療）CT導入後、動脈性出血の動脈塞栓術や門脈体循環塞栓術等を得意としています。放射線照射治療分野も定評があります。消化器内科では早期食道癌、早期胃癌、早期大腸癌に対する内視鏡的治療（粘膜下層剥離術）が本格稼働しています。循環器内科におけるIVR治療件数も増加しています。

自由診療については、形成外科ではスキンケアやボトックス注射（美容）、男性型脱毛治療を、整形外科では再生医療（膝関節等への多血小板血漿フリーズドライ療法）が実施されています。

## 3. 臨床研究センターとアレルギー疾患 対策拠点病院

～国内研究の中心的役割を担う～

当院は日本に2箇所しかないアレルギー中心拠点病院の一つです。2017年4月に当院と成育医療研究センターが日本のアレルギー疾患対策拠点病院に指定されました。法律によりアレルギー診療のみならず、研究や研修などの中心的役割を担うように定められています。その沿革は1974年難病（リウマチ・アレルギー疾患）基幹施設に指定され、それに伴い1976年に臨床研究部設置、1999年に免疫異常（リウマチ・アレルギー疾患分野）における準ナショナルセンターとなり、翌2000年に国立病院として初めて臨床研究センターが設置されました。以上の経緯からわかるように、難治性のリウマチ・アレルギー疾患患者さんを多数抱え、その内科的治療や整形外科のリウマチ患者さんに対する人工関節手術、皮膚科のアトピー性皮膚炎診療、小児科における世界最多の食物アレルギーの診療実績には高い評価を受けており、当院の大きな特色の一つとなっています。研究実績をみると2020年度は150本を超える論文発表を行っています。



## 『方針』

以上のように当院には多様な役割があります。アレルギー・リウマチグループが牽引する臨床研究センターと、ハイレベルな低侵襲医療・『がん診療』・断らない救急医療を提供する診療部の両者が、当院の強みである多様性を尊重して

共存共栄出来るよう努めていきます。

私たち国立病院機構相模原病院職員一同、地域支援病院の使命を継続して果たし、地域の皆様が安心して受診できる総合医療施設であるよう務めますとともに、我が国のリウマチ・アレルギー疾患診療・研究の中軸を担う基幹施設としての責任に応えるべく診療を行っていく所存です。

## 理 念

私たちは患者のみなさまの人権を尊重し、  
十分な説明と同意に基づき、  
親切で心のこもった医療を提供します

## 基本方針

1. 総合医療施設としての地域完結型医療の遂行
2. 地域支援病院の使命としての断らない救急医療の継続
3. 良質でも安全な効率的医療の継続と低侵襲医療の拡大
4. 免疫異常（アレルギー・リウマチ）の高度専門施設としての診療、臨床研究、教育研修、情報発信
5. 病診連携・病病連携・薬薬連携の強化
6. 説明と同意（インフォームド・コンセント）の徹底
7. 情報開示の推進
8. 感染症や災害に強い診療体制の維持

## 医療連携講演会を開催しました

事務部 経営企画係長 松田

令和4年1月13日、令和4年6月23日に相模原市医師会様と共催で第1回、第2回医療連携講演会をオンライン形式で開催しました。

当院では以前より登録医協議会、市民公開講座、納涼祭などのイベントを開催してまいりましたが、コロナ禍以降病院全体が対応に多忙であったこと、感染対応の面から多くの方が一同に集まる機会を病院側が提供することが困難であったことから、先生方、住民の方々とお会いできるそれらイベントが開催できない状況でした。今回、Microsoft®Teamsを用いてのオンライン講演会という形で、地域の先生方との交流を少しでも持てたことを幸いに感じております。

第1回では、大森智子医長（放射線科）より、「診療用放射線の安全利用について 画像検査の選び方～CT?MRI? それとも核医学?～」と題し講演を行いました。こちらは医療安全講習会も兼ねており、受講いただいた先生方へ右図のような受講証を後日発行させていただきました。第2回では、平井志馬医長（整形外科）より、「身体への侵襲の少ない新しい脊椎手術～当院の脊椎内視鏡手術の現状～」と題し講演を行いました。

オンライン講演会ということで、オフラインとは違う点多く、始まる前から終わりまで気が抜けませんでした。ネット接続が途切れるということもありましたが、どちらの回もおおき

な大きなトラブルもなく終わることができました。参加いただいた先生方にご満足いただける内容であったならば幸いです。今後も会を重ねていきたいと考えておりますので、ご期待いただけますようお願いいたします。

最後に、このような機会を共催という形で設けていただいた相模原市医師会様、日本メジフィジックス株式会社様には、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 医療安全講習会受講証

No.«No» 氏名 «先生名»

あなたが本講習会を受講したことを証明します

日時：令和4年1月13日（木）午後7時00分

場所：国立病院機構 相模原病院 第一会議室（中継）

内容：診療用放射線の安全利用について

「診療用放射線の安全利用と安全管理－医療法施行規則への対応」

－画像検査の選び方CT?MRI? それとも核医学?」

以下の研修項目を網羅

1. 医療被ばくの基本的な考え方に關する事項
2. 放射線診療の正産化に關する事項
3. 医療被ばくの防護の最産化に關する事項
4. 放射線の過剰被ばくその他の放射線診療に關する事例
5. 先生時の対応等に關する事項
6. 放射線診療を受ける者への情報提供に關する事項

受講証

## 連載

## 近隣協力医療施設の紹介コーナー



座間市 相模が丘  
「鴉田医院」

院長

鴉田 尚樹 先生

座間市相模が丘に開業している鴉田(ときた)医院です。父がこの地に内科、小児科医院を開業したのが昭和42年、すでに54年が経過しております。私は平成5年に北里大学を卒業し、循環器内科に入局しました。その後は大学病院の他、様々な出向を経験した後、平成23年に父が他界した時より私が継承しております。私の専門はもともと循環器内科ですが、父の後を引き継ぎ小児科も標榜しております。毎日多くの予防接種のほか、生活習慣病、心臓病などの患者様を診察しております。

座間市相模が丘は、座間市の北東部に位置し、座間市最大の人口密集地です。小田急相模原の駅前まで行けばたくさんの医院がありますが、市街地の中の医院は案外少なく、多くの患者様はなかなか通えないと訴えられます。当院は相模が丘のほぼ中央に位置し、周囲は住宅街であり、住民には通いやすいとさせていただいております。

父が開業したころはこの地で近隣の病院と言えば相模原病院しかなく、連携は当然のご縁でした。

今も当院では手に負えない患者様は相模原病院にしばしばご紹介しております。特に小児科、循環器内科、消化器内科などはお世話になっております。

これからも相模原病院を始めとして近隣の病

院と連携を図りながら地域医療を推し進めたいと考えております。よろしくお願いいたします。



## 【鴉田(ときた)医院】

診療科：内科、循環器内科、小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
① 9:00~12:00	○	○	○	休	○	○	休	休
② 15:00~18:30	○	○	○	休	○	休	休	休

※休診日；土曜日午後、木曜日、日曜日、祝日

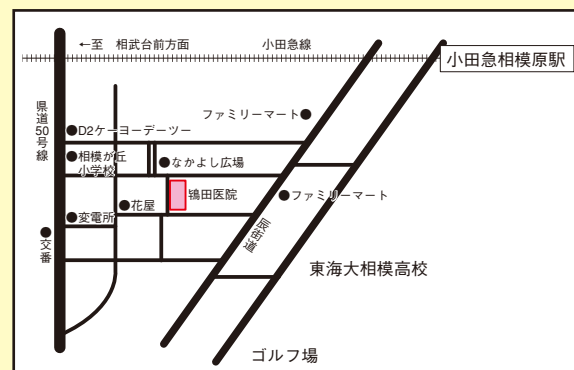
電話：046-251-2205

HPアドレス：

<http://www.sagamiseikeigeka.jp/>

住所：〒252-0001

神奈川県座間市相模が丘3-53-10



●電車・バスでお越しの方

最寄駅〈小田急相模原駅南口〉から徒歩約15分。